

神宮外苑地区再開発計画の見直しもしくは中止を求める請願書

紹介議員

請願者 楠本淳子 ⑩ 外 名
住 所 東京都目黒区柿の木坂 2-7-14

請 願 要 旨

- 神宮外苑は、明治天皇とその皇后昭憲皇太后の御遺徳を永く後世に伝えるために全国国民からの寄付金、献木、勤労ご奉仕により国民主体で国民のために建設されたものであり、明治天皇とその皇后様への国民の愛情の象徴であり、世界で王室を擁する30カ国の内の一国家として日本に天皇制が存続する限りその象徴として後世に大切に守り継がれるものであると信じます。
- 神宮外苑の意匠は、20世紀初頭の「都市美運動 —City Beautiful Movement」のデザイン思潮を踏まえた近代日本を代表する庭園建築であり、4列の銀杏並木を配するそのビスタなど都市美の理想を追求したれっきとした文化遺産です。創建者の遺志が尊重され、その樹木林と共に現在のままで未来永劫保護されるべきであり、その東京都の公共性のシンボルでもある神宮外苑の景観をビジネスや商業施設建設など一部の企業の利益のために破壊する事は、日本の伝統を後世に伝えるためにも、また環境保護の見解からも害悪でしかないと考えます。
- また今回のこの計画の承認にあたっての東京都、及び新宿区の行為は、環境アセス審議会の軽視に始まり民主主義政治に適ったものではなく、計画反対の署名数、都民の訴訟に見られるように都民の都政に対する不信感を増長しており由々しき問題です。

